

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
施設野菜專業經營 III	人 3	きゅうり促成		a 30	1. ハウス促成栽培 2. 収穫は6月末までの長期取り 3. 環境制御技術導入
		経営耕地面積	水田 0 畑 30		
経営目標	1 農業総収入	21,438 千円	4 1日当たり農業所得	9,282 円	
	2 農業経営費	15,907 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,589 時間	
	3 農業所得	5,530 千円			

2. 資本装備と減価償却費

種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	耐用 年数	年 間 償 却 額
					千円	年	千円
建物・施設	ビニールハウス	3 連棟補強Ⅱ型SRHハウス 1,000㎡	1		29,916	14	1,068
	かん水施設	3 一式 1,000㎡	1		2,756	7	197
	重油タンク	2 1900L/基	1		479	7	34
	防油堤	2	1		345	25	14
	作業及び収納舎	1 軽量鉄骨 60㎡	1		5,671	24	236
	農機具倉庫	1 軽量鉄骨 20㎡	1		1,890	24	79
	防虫ネット	3 一式 1,000㎡	1		1,636	7	234
	二重カーテン	3 連棟補強Ⅱ型SRHハウス 1,000㎡	1		2,727	7	390
	計				45,420		2,252
農機具	トラック	1 軽トラック	1		1,324	4	166
	トラクター	1 20PS	1		1,560	7	111
	動力噴霧機	1 可搬式、防除タンク(500L)	1		184	7	13
	管理機	1 6.2PS	1		278	7	20
	加温機	2 多段式サーモ込一式 1,000㎡	1		3,712	7	265
	統合環境制御装置(長崎型)	2 モニタリング装置込み	1		1,338	7	96
	炭酸ガス発生装置	3 一式 1,000㎡	1		1,573	7	112
	循環扇	3 一式 1,000㎡	1		682	7	49
	自動換気装置	3 1000㎡用	1		2,957	7	211
計				13,607		1,043	

3. 技術体系（きゅうり促成）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ぼ) 耕うん整地	耕起整地	10月上	トラクタ	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 150kg リン酸質資材 60kg	深耕及び有機質の施用
土壌消毒		10月上	土壌消毒機	2	3	6		県病害虫防除基準による
保温施設組立て	ビニール張り	10月中	トラック	4	9	36	ビニール一式	
施肥	基肥施用	10月中	トラック管理機	2	2	4	N 40kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 25kg K <sub>2</sub> O 35kg	Nの分施割合 基肥40% 追肥60% 追肥は肥料切れしないように行う。 液肥の追肥は収穫開始後 10日頃より行う
	追肥施用	11月下～6月		1	15	15		

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植準備	うね立て	10月中	管理機	2	3	6		
	配管			2	3	6	かん水チューブ 700m	
	マルチ			2	4	8	ポリフィルム 0.02mm×1.8m×700m	
定植		10月下	トラック	2	8	16		栽植密度 うね幅1.8m×株間50cm 10a当たり 1,400株
整枝・誘引	支柱立て	10月下	トラック	2	175	350	支柱 350本 針金 20kg テープ 2,500m	(つるおろし栽培) 主枝の13～14節で摘心し、上から4本の子づるを伸ばしていく。
環境制御	保温、換気 炭酸ガス局所 施用 自動換気 統合型環境制御	11月 ～6月	加温機 自動換気扇 炭酸ガス発生装置 局所施用装置 自動換気装置 統合型環境制御装置	1	25	25	A重油 7,200L 二重カーテン 灯油 1,500L	二重カーテン設置 環境制御技術により光合成能力を向上させる 温度管理 日中 25～28℃ 夜間 13～14℃ 炭酸ガス施用日中400ppmを維持する
かん水		10月下 ～6月	かん水施設	1	50	50		液肥による追肥は、かん水を兼ねて施用する。 日射量、生育状況を見ながら量を調整する
病虫害防除	薬剤散布 天敵利用	10月下 ～6月	動力噴霧機	2	17	34		県病虫害防除基準による
収穫出荷		12月上 ～6月	トラック	2	691	1382		取扱いは丁寧にいう
後かたづけ		8月中	トラック トラクタ	2	10	20		
計						1962		

4. 品目の作付体系(○:は種、△:定植、□:収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
きゅうり(促成)									○	△		

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

促成きゅうり

品目・作業/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計														
定植準備										10	20		30														
定植												16	16														
ビニール被覆等										36			36														
肥培管理	18	17	18	18	18	18	18	17	17	4	17	18	17	18	17	444											
病害虫防除	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1	34										
収穫出荷	50	60	58	38	50	70	78	80	80	80	76	76	48			25	55	70	1382								
後かたづけ												20							20								
計	69	79	77	56	70	88	97	100	99	99	100	99	65	94	95	65	0	0	10	60	34	20	19	43	75	88	1962
月計	225	214	296	298	287	254	0	20	0	104	58	206															

6. 総労働時間

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計													
総労働時間	207	237	231	168	210	264	291	300	297	300	297	297	300	180	102	60	57	57	60	30	180	102	130	225	264	5887
うち家族労働	160	190	184	146	188	242	208	214	205	208	205	205	214	211	234	237	147	0	60	30	180	102	122	218	257	4767
うち雇用労働	47	47	47	22	22	22	83	83	83	83	83	83	74	74	48	48	48									1120